

# 株主の皆様へ

2013 新春号



鋼線の総合メーカー(新日鐵住金グループ)



鈴木金属工業株式会社

証券コード:5657

# グローバル拠点の 有機的連携を深めるとともに、 事業基盤の強化・拡充を 加速します

鈴木金属工業(株)  
代表取締役社長

升光 法行



新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、引き続き国内の「六重苦」に加え、欧州債務問題による景気低迷の長期化、中国の成長鈍化など海外経済の減速が強まり、閉塞感を払拭できない1年でした。

当社グループは、グローバル対応と国内基盤強化を計画どおりに進め、昨年5月にSuzuki Garphyttan社（SG社）蘇州の生産能力増強を完了、Thai Special Wire Co.,Ltd.（TSW社）における品質向上・製造拡大を目的とした設備工事に着手するとともに、操業を開始して50年が経過した習志野工場において、生産設備構造・インフラのリフレッシュ計画を始動させました。

グループ業績につきましては、海外およびステンレス事業における販売数量減の影響等により、平成25年3月期第2四半期累計期間の売上高は、258億1千2百万円、経常利益は、5億2千7百万円となりました。

こうした状況から、誠に遺憾ながら中間配当を見送らせていただきました。事情ご賢察のうえ、ご理解をお願い申し上げます。

世界経済は、前述の状況に加え、緩やかな回復を続ける米国の「財政の崖」問題の先行き等、依然、予断を許さない状況が続くものと見込まれます。日本経済につきましても、新政権の経済対策効果等による景気持ち直しに期待がかかるものの、世界経済の低迷や日中摩擦の継続など、不透明感が拭えない状況です。こうした環境を背景に、需要家の原価低減要請はますます厳しく、また競合他社との競争は熾烈さをさらに増しております。

当社グループは、世界各地の生産拠点を有機的かつ効果的に活用するとともに、生産量に応じた弾力的な要員配置をはじめ、不断のコスト改善による競争力強化を通じ、需要家の要請に的確に応えることで数量・シェアの維持・拡大を図り、安定的収益の確保とさらなる財務体質改善を実現してまいります。

ステークホルダーの皆様にとって“魅力あるグロー



バル企業”と企業価値向上を目指し、本年は以下の課題に取り組めます。

## 1. グローバル競争力の深化

日本の主要産業の海外シフトの流れはもはや止められず、またアジアを主戦場とした世界各企業の競争がより激しさを増していく中、当社グループは、グループの製品を市場に早期かつ確実に浸透させ、確固たる地位を築いてまいります。そのために、まずはSG社蘇州について、販売・生産を早急に軌道に乗せ稼働率を高めるべく、現地と日本の連携による数量確保に注力いたします。また、TSW社については、設備工事を本年後半に完了させ戦力化することで、拡大するアジアの四輪用ばね素材需要を捕捉いたします。

これらの案件の実行に加え、縮小する国内市場への対応と伸長する海外市場におけるビジネスチャンス獲得を企図し、複数の新規案件の検討を鋭意推進してまいります。

## 2. 国内事業基盤強化の加速

昨年から着手したグループの主力工場である習志野工場の構造改革を遅滞なく実行するとともに、さらにそのスピードを加速いたします。第一段階として2工場の設備集約・高速化等を実施いたしました。引き続き最新設備の計画的導入による高生産性の追求およびレイアウトの最適化・整流化を進め、着実に利益を確保できる体制を整備してまいります。また、昨年末に完成した付加価値向上のための設備の効果をフルに発揮すべく、販売・製造一体となった取組みを強化いたします。

次に技術先進性の追求です。市場は予想を超えるスピードで変化しており、需要家・競合者の商品・プロ

セス開発も日々進歩しております。この変化に追随するのみならず、先行するためには、社内外の力を結集したソリューション力の強化が不可欠です。最終需要家の製品用途と製造プロセスまでを考慮した、一貫視点での開発力により一層磨きをかけてまいります。さらに、現在推進中である、当社グループのオンリーワン技術・商品の開発に積極的に経営資源を投入する所存です。

当社グループが製造業として、全てのステークホルダーに信頼いただくためには、コンプライアンス・内部統制活動の継続的な改善、グローバルな視野での環境への配慮、地域と共生する活動の継続、安全な職場造りが基本となります。

また、企業の成長を実現する上での基礎となる「人財（材）」の育成につきましては、当社グループが業務運営の基軸としている“もの造り＝人造り”の考えのもと、引き続き階層別教育施策の充実や海外拠点との人的交流・能力向上の場の創出等に尽力してまいります。

習志野工場が誕生して半世紀を迎えたことを契機に、あらためて創始者の開拓者精神に思いを馳せました。50年前、当社発展の礎となった赤羽から何もなかった習志野の原野に進出し、輸出を念頭に置いた量産型工場を建設した信念は、今日、私達が異国の地で製造拠点を拡充し成長する市場を捕捉しようとするそれと相通じるものがあります。不退転の決意であらゆる課題を克服し、さらなる成長を実現してまいりたいと考えております。

この一年が皆様にとって、健康で明るい年となりますよう祈念し、年頭のご挨拶といたします。

## SG社蘇州の生産能力を増強しました

(平成24年5月)

当社グループの中国生産拠点の1つであるSG社蘇州において、オイルテンパー線の製造ラインを増設しました。今回の設備増強により、同拠点における弁ばね用鋼線の生産能力は、約6千トンから1万トンへ大幅に引き上げられ、拡大する中国マーケットへの対応が可能となりました。



## 習志野工場 操業50周年記念式典を開催しました

(平成24年11月6日)

習志野工場が操業50周年を迎えました。昭和37年に、国内需要のみならず輸出を視野に入れ、硬鋼線とPC鋼線の生産からスタートした同工場は、半世紀を経て、国内・輸出を問わず、多種多様な製品を生産する主力工場に成長しました。生産設備構造改革を通じてより一層の生産性向上を追求し、当社グループのマザー工場として、さらなる発展を目指してまいります。



## 安全新記録を達成しました

### (1) 業種別（伸線業）無災害最長記録更新

(対象期間：平成21年7月24日～平成24年10月31日)

当社自身（構内企業含む）が持つ最長記録4,880,733時間（平成4年3月3日樹立）を更新しました。

### (2) 鉄鋼業（伸線業）第1種無災害記録時間数更新

(対象期間：平成21年7月24日～平成24年7月17日)

2,401,508時間（当社単独）を達成。これも、当社自身が持つ記録の更新です。

「安全な職場造りがすべての企業活動の基本」という認識のもと、今後も安全活動に愚直に取り組んでまいります。

## 株式事務の取扱いについて

|           | 証券会社に口座をお持ちの場合                                                                                                 | 特別口座の場合                                                               |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 郵便物送付先    | お取引の証券会社になります。                                                                                                 | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4                          |
| 電話お問い合わせ先 |                                                                                                                | 0120-288-324（フリーダイヤル）                                                 |
| お取扱店      |                                                                                                                | みずほ信託銀行株式会社<br>本店および全国各支店<br>みずほ証券株式会社<br>本店および全国各支店                  |
| ご注意       | 未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。<br>なお、未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行本店および全国各支店でもお取り扱いいたします。 | 単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。<br>電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。 |

鋼線の総合メーカー（新日鐵住金グループ）

 鈴木金属工業株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 丸の内中央ビル

URL <http://www.suzuki-metal.co.jp/>